

CIOシェアリング協議会 活動方針と参画案内

2019年11月5日

CIOシェアリング協議会

理事 坂本俊輔

アジェンダ

- CIOシェアリングとは
- CIOシェアリング協議会紹介
- 活動方針紹介
- 当協議会への参画案内

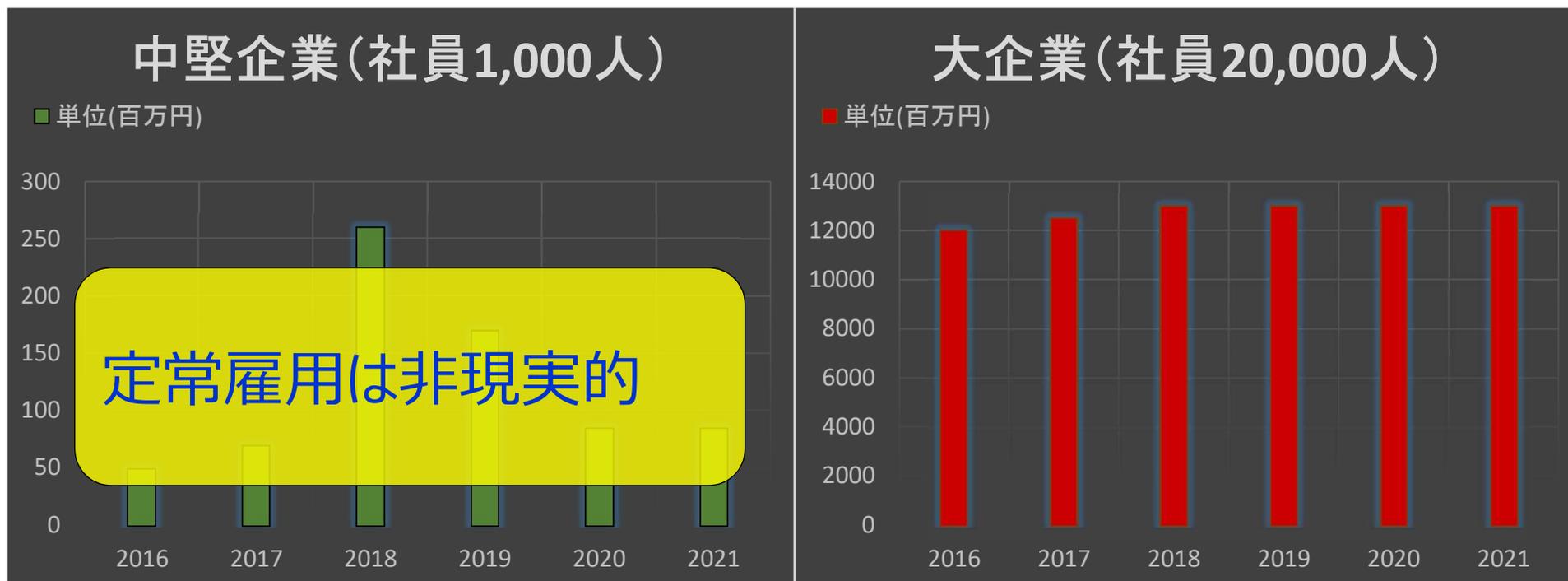
CIOシェアリングとは

「CIOシェアリング」が目指すこと

- より多くのITユーザ企業に、CIO人材の知見とスキルを活用いただきたい
- CIO人材に、より多様な経験を獲得いただき、活躍の場をさらに広げていただきたい
- CIOをより魅力ある職種にし、将来CIOを目指す人材を増やしたい

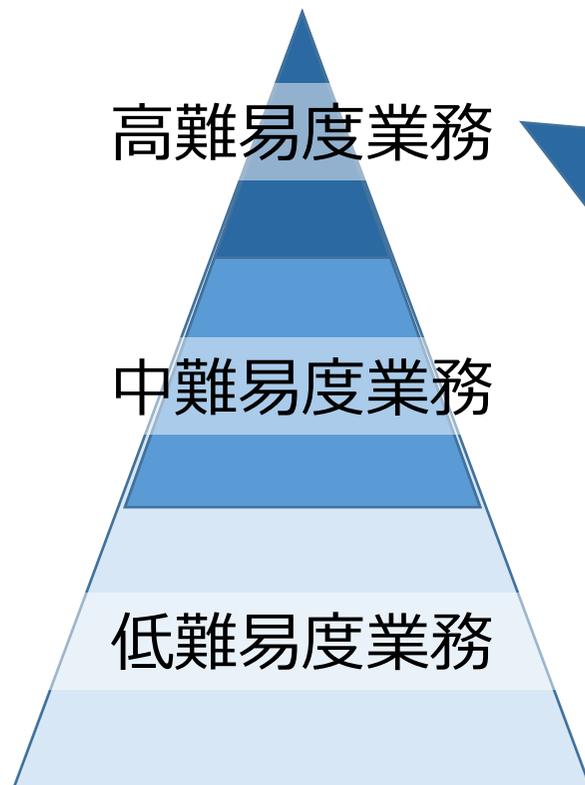
なぜ「CIOシェアリング」？

- IT業務量の年間変動は非常に大きい
(基幹システム刷新のタイミングや、ITガバナンスルール・プロセスの改革時などに大きく膨らむ)
- 中堅企業は、特に変動率が大きくなる



なぜ「CIOシェアリング」？

- 一定規模以下の企業では、高度なスキル人材が必要な高難易度の業務は、フルタイム分までの業務量はないのでは？



例)

- ITガバナンスルールの構築
- 基幹システム刷新の主導
- 事業部門との協働の推進
- コンサルティング会社の発注管理

なぜ「CIOシェアリング」？

- 一定規模以下の企業にとっては、高難易度の業務はさほど多くはなく、かつ年間変動も大きい。
- しかし、人材の質を落としては、少ないとはいえ、高難易度の業務には対応できない

「フルタイムで定常雇用」という常識を見直し、「**質の高い人材を、業務量の変動に合わせて登用する**」

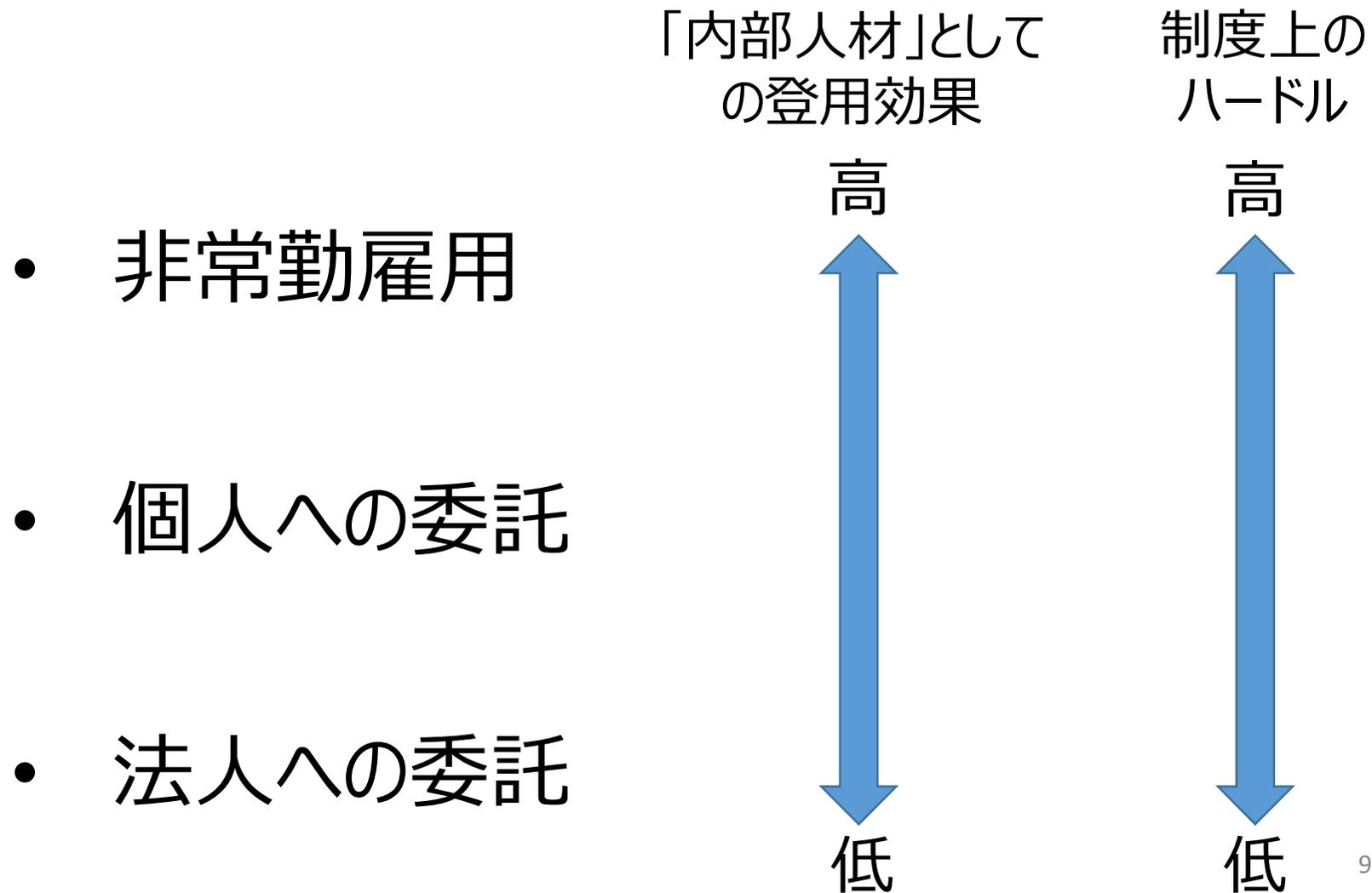
という選択肢を考えることが有効ではないか。

「CIOシェアード人材」*の働き方例

- 改革の推進役として活動し、改革がひと段落すれば活躍の場を変える（転職する）
- 非常勤雇用、または顧問委嘱、業務委託等の契約により、非常勤でCIO／CIO補佐業務を遂行する

*CIOシェアリングのモデルで働くCIO人材のことを、「CIOシェアード人材」と呼称しています。

「契約形態」に対する考察



「契約形態」に対する考察

- 最終的には、「非常勤雇用」が望ましい
- しかし、非常勤雇用にはハードルが多いため、現実的には、業務委託契約や顧問委嘱契約で取組みを開始し、次第に雇用に踏み出す事例が出てくることが想定される。

雇用ではなくてもCIO/CIO補佐 と言える状態とは？（仮説）

- 受託する個人が特定されていること
- 業務内容は明確に規定せず、人材側から能動的に業務を提案し、主導できること
- 経営層への助言・提言だけでなく、現場への支援・指導も実施すること
- （社員と同等に）一定の「責任と権限」を有すること

契約形態の一般的な比較（参考）

活動施策案	業務内容の規定	受託者区分	責任範囲
業務委託 (コンサルティング)	明確に規定する	法人*	規定された業務内容の完遂責任は問われる 規定外の事項については契約変更を経ない限り実施できない
業務委託 (アドバイザー)	テーマのみを規定し、内容は明確に規定しない	法人*	施策の完遂責任や結果責任は問われないことが多い（成功報酬で結果責任を代行する場合あり） 経営層への助言がメインで、現場社員への指導・支援の要素は持たないことが多い
顧問委嘱	テーマのみを規定し、内容は明確に規定しない	個人	施策の完遂責任や結果責任は問われないことが多い 経営層への助言がメインで、現場社員への指導・支援の要素は持たないことが多い

*個人事業主への業務委託の場合は、個人となる 12



CIOシェアード人材を目指す方への 留意事項（お願い）

- CIOシェアリングは、関与時間を減らすだけで、成果へのコミットは同等に必要
- むしろ、短時間で成果を出す必要があるため、**「より難しい働き方」**へのチャレンジ
（その結果、さらなる知見拡大と報酬向上を目指しうるもの）

「引退後の緩やかな働き方の場」作りを意図するものではありませんので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

CIOシェアリングに向けた「ハードル」

<ユーザ企業側>

- 先例がないので、明確な意義を認識できなければ非常勤雇用は難しい
- 外部人材にいきなり責任と権限を持たせることはできない
- どのような人材にCIOやその補佐の役割を任せるべきかの判断、見極めができない

CIOシェアリングに向けた「ハードル」

<人材側>

- 兼業で働くことを考えたことがない
- 現職で兼業は禁止されている
- 少ない工数で成果を出せるかどうか不安
- 非常勤とはいえ、雇用（就職）となると、企業の見極めに慎重になる

「CIOシェアリング協議会」 の設立

前述の「ハードル」を抑制し、「CIOシェアリング」の普及を実現するための協議・検討の場として、設立しました。

CIOシェアリング協議会紹介

「 CIOシェアリング協議会」概要

名 称	「CIOシェアリング協議会」 (英語表記：CIO Sharing Council)
目 的	1. CIO系人材のシェアの必要性や実現方法についての検討 2. ユーザ企業におけるCIO系人材の確保の促進 3. CIO系人材の活躍促進 4. CIO系業務サービスの提供事業者に求められるサービス形態や振る舞いの啓発 ※CISOについても検討範囲に含む
発 起 人	株式会社グローバル・パートナーズ・テクノロジー (GPTech)
理 事 (名 前 順)	・木場 武政 ・坂本 俊輔 ・長谷川 秀樹 ・船田 尚
監 事	・中村 羽矢人
設 立 日	2019年9月2日

理事紹介



木場 武政

現職	チューリッヒ保険株式会社 ITサービス本部長CIO
略歴	SAP、Oracle、IBMなど大手ITベンダーで開発者やコンサルタントを経て大手外資系保険会社のAIGに転職。AIGでは戦略プロジェクトのリードやCIO補佐など経験し、その後2014年にCIOとしてチューリッヒ保険会社に入社。



坂本 俊輔

現職	株式会社グローバル・パートナーズ・テクノロジー代表取締役 政府CIO補佐官
略歴	大手SIer経験を経て、2010年にユーザ企業のIT体制強化専門の現職会社を設立。2017年4月より、政府CIO補佐官に就任。2018年、自社事業コンセプトを「CIOアウトソーサー」としてリブランディングし、2019年現在、民間企業2社の外部CIOの役割を務める。

理事紹介



長谷川 秀樹

現職	株式会社メルカリ執行役員CIO Rockesta Inc. 代表取締役社長
略歴	大手コンサルティングファームを経て、2008年に東急ハンズに入社後、情報システム部門、物流部門、通販事業の責任者として改革を実施。2011年に同社執行役員CIOに昇進。2013年ハンズラボを立ち上げ、代表取締役社長に就任。2018年より現職。



船田 尚

現職	複数社のCISO補佐業務に従事
略歴	大手メーカーの経理、通信会社でのマーケティングを経て、1998年にインターネットセキュリティ事業に出会う。以後、大手サイバーセキュリティ事業会社に在籍し、不正アクセス監視・脆弱性診断関連事業に従事。2007年サイバーセキュリティ専門会社 株式会社ユービーセキュアを設立。自社売却後は、非常勤でのCIO補佐業務に従事。

その他メンバー紹介

理事以外にも、協議会の運営に参加しているメンバーがいます。

中村 羽矢人 (監事)	ディーディーエヌコンサルティング株式会社取締役	CIO人材
青嶋 信仁	(株) ディアイティ 取締役	CISO人材
伊藤 豪一	政府CIO補佐官 ULAコンサルティング合同会社代表社員	CIO人材
澤田 和義	ディーディーエヌコンサルティング株式会社代表取締役	CIO人材
中村 元洋	カナデルパートナーズ株式会社代表取締役 政府CIO補佐官	CIO人材
羽入 敏祐	ひので監査法人 パートナー 日之出コンサルティング(株) 代表取締役 (株) RPAホールディングス 取締役 その他多数企業の取締役や監査役を兼任	CFO人材*

*CIO人材ではないが、協議会の協議メンバーに参加している。
CFO視点で、会計システム整備や社内IT統制についての検討を重ねている人材。
優秀なCIOを確保の重要性についての提言や、CIOとCFOの連携についての提言の役割で参画。

活動方針紹介

活動方針サマリ

活動施策	内容案
協議会会合	<ul style="list-style-type: none"> • 運営メンバーによる、運営方針協議（隔月程度）
イベント・セミナー	<ul style="list-style-type: none"> • オープンセミナー • 個別テーマセミナー • 相談会イベント等
会員サービス	<ul style="list-style-type: none"> • 法人会員／個人会員の募集 • 会員向けサービスの提供
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 各種調査、検討活動 • 他企業、団体との提携活動 等

活動方針（イベント・セミナー）

活動施策案	内容案
オープンセミナー	協議会テーマ発信・普及を目的としたオープンセミナー 会員以外に広く募集をかける （年2回程度想定）
個別テーマセミナー （有料、無料）	主に会員向けで、かつ対象者像を絞って実施するセミナー <ul style="list-style-type: none"> • CIO人材向けセミナー （働き方事例やニーズ動向の紹介等） • ユーザ企業向けセミナー （CIO人材登用事例やIT調達ノウハウ紹介等） • ITサービス会社やコンサル会社からの情報提供 （業界動向、技術動向等）
相談会・イベント	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザ企業（会員）相談会 <ul style="list-style-type: none"> – IT体制の診断、相談 – IT投資相談

活動方針（会員サービス）

項目	内容
募集区分	法人会員／個人会員 いずれも、「任意団体」の間は無料*
会員向けサービス （法人向け）	<p>ユーザ企業向けに、以下のような相談対応サービスを提供</p> <ul style="list-style-type: none"> • CIO人材採用に向けた人材像の相談対応 • IT投資に関する相談対応 <p>→理事、監事または運営メンバーにて対応</p> <p>また、ITサービス会社等には、セミナー等における登壇機会やリーフレット配布機会を提供</p>
会員向けサービス （個人向け）	<ul style="list-style-type: none"> • イベント、セミナー、メルマガでの情報提供（働き方情報、人材ニーズ情報） • 知見がマッチする場合、協議会の調査・検討の場への参加機会の提供

*サービス内容や制度設計の完了の後、一般社団法人化を予定しています。
目安時期は、2020年4月です。

活動方針（調査・検討）

項目	内容
調査テーマ例	<ul style="list-style-type: none">• CIOシェアリングの事例調査• ユーザ企業ニーズ調査• 各種顧問紹介サービス調査
検討テーマ例	<ul style="list-style-type: none">• CIO人材の知見、経験、所属特性の類型化• ユーザ企業ニーズの類型化• CIOシェアリングの契約モデル整理

活動方針（提携活動）

ユーザ企業のニーズ把握や、ユーザ企業と人材間の実際の契約締結の加速*に向けて、顧問サービス提供会社との提携を検討中。

その他、CFO団体との提携も検討中。

*当協議会自身では、人材紹介や人材派遣の事業提供は予定していません。

当協議会への参画案内

入会案内

明日11月6日より、入会申込を受付開始します。

当協議会ウェブサイトの入会申込フォームから申込が可能となります。

会費は当面無料です。ただし、提供サービスが「β版*」であることについては、ご了承をお願いします。

*内容や条件が大幅に見直しになったり、提供が中止になったりすることがあります。

会員サービス補足

<ユーザ企業向け>

- 部署単位での入会も検討可能です。
(ご相談ください)
- 1時間／回、2回までの相談が可能です。
(以降の追加相談は、協議会への有料相談、または協議会メンバーへの直接の委嘱を検討ください。)
- 協議会にて、適切な相談対応者を検討するため、まずはウェブフォームから概要情報のご連絡をお願いします。

会員サービス補足

<個人向け>

- イベント、セミナーへの参加には特段の条件はありません。
- 調査・検討の会合にご参加いただく場合には、経歴や参加方針についてのヒアリング対応、または書面提出をお願いすることになります。
- 運営メンバーへの参画については、現時点では原則紹介制としています。詳しくはお問い合わせをお願いします。

会員サービス補足

＜その他企業向け＞

- 年1回程度、当協議会のイベント・セミナー等において情報発信機会（登壇等）を持っていただけるようにすることを検討しています。
- ただし、会員（イベント参加者）にとって有益な情報提供の要素を設けていただくことが必要です。

ご不明な点につきましては、
会場左前方の「運営メンバー」
会場入り口付近事務局席の「事務局メンバー」
にお問い合わせください。

さいごに

協議会の活性化のために、より多くの企業、個人の皆さまからのご意見、ご協力を賜りたく、
なにとぞ、ご入会及び活動への参加のほど、よろしく
お願いいたします。